

事業報告書
(自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 社会医療法人 杏嶺会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
- ② ☒ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度法人 ☐ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の ☐ を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 愛知県一宮市奥町字下口西 89 番地の 1
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 昭和 63 年 2 月 26 日
- (4) 設立登記年月日 昭和 63 年 3 月 3 日
- (5) 役員

	氏 名	備 考
理 事 長	上林 弘和	一宮西病院管理者 (院長)
理 事	上林 公子	老人保健施設やすらぎ副施設長 社会福祉法人杏嶺会理事長
同	宮田 英雄	一宮西病院 元名誉院長
同	多羅尾 信	尾西記念病院管理者 (院長)
同	山田 尚登	上林記念病院管理者 (院長)
同	伊藤 隆夫	いまいせ心療センター管理者 (院長)
同	山木 健市	老人保健施設やすらぎ管理者 (施設長)
同	関戸 一正	関戸機鋼㈱ 代表取締役
同	水野 浩司	熊野油脂㈱ 代表取締役
同	栢森 雅勝	㈱ダイコク電機 代表取締役
監 事	前田 憲昭	前田憲昭税理士事務所 税理士
同	一木 弘之	税理士法人タスクマネジメント元副所長

- 注) 1. 「社会医療法人、特別医療法人及び医療法第 42 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 42 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 47 条第 1 項参照)
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 49 条の 4 参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	上林記念病院	愛知県一宮市奥町字下口西 89 番地 地の 1	一般病床 60 床 療養病床 197 床 精神病床 188 床
病院	一宮西病院	愛知県一宮市開明字平 1 番地	一般病床 497 床 (うち 32 床臨時)
病院	いまいせ心療センター	愛知県一宮市今伊勢町宮後字郷中茶原 30 番地	精神病床 178 床 (うち 22 床臨時)
病院	尾西記念病院	愛知県一宮市富田字宮東 1718 番地 地 1	一般病床 96 床 療養病床 41 床
介護老人 保健施設	老人保健施設やすらぎ	愛知県一宮市奥町字下口西 74 番地 地の 1	入所定員 100 名 通所定員 100 名

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
訪問看護ステーションやすらぎ	愛知県一宮市奥町字下口西 72 番地の 1	
介護保険相談センターやすらぎ	愛知県一宮市奥町字下口西 72 番地の 1	
一宮市地域包括支援センターやすらぎ【一宮市から委託を受けて管理】	愛知県一宮市奥町字下口西 72 番地の 1	
障害者相談支援事業所いまいせ【愛知県、一宮市から委託を受けて管理】	愛知県一宮市今伊勢町宮後字郷中茶原 30 番地	
訪問看護ステーションびさい	愛知県一宮市富田字宮東 1718 番地 1	
介護保険相談センターびさい	愛知県一宮市富田字宮東 1718 番地 1	
はーとぴあうるる	愛知県一宮市奥町字下口西 73 番地 1	
ヘルパーステーションやすらぎ	愛知県一宮市奥町字下口西 72 番地の 1	
訪問看護ステーションあんず	愛知県一宮市今伊勢町宮後字郷中茶原 30 番地	
介護保険相談センターあゆむ	愛知県一宮市末広 2 丁目 27 番 7 号	
リハカフェデイサービスあゆむ	愛知県一宮市末広 2 丁目 27 番 7 号	
あんず保育所	愛知県一宮市開明字東石亀 14 番地	
認知症初期集中支援センターいまいせ【一宮市から委託を受けて管理】	愛知県一宮市今伊勢町宮後字郷中茶原 30 番地	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に
【 】書で記載すること。

(3) 収益業務 (社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務)

種 類	実 施 場 所	備 考
あんず農園	愛知県一宮市開明字東石亀 36 番地 2	

(4) 当該会計年度内に社員総会・理事会で議決又は同意した事項

令和 3 年 5 月 28 日

- ① 理事・監事の改選の件
- ② 理事長改選の件
- ③ 理事長の職務代行者選定の件

令和 3 年 6 月 15 日

- ① 令和 2 年度決算承認の件

令和 4 年 3 月 30 日

- ① 令和 4 年度事業計画書承認
- ② 令和 4 年度の借入金最高限度額設定の件

注) 以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開
設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に開設 (許可を含む) した主要な施設

該当なし

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(7) そ の 他

・工事

- ① 一宮西病院 感染症対策臨時外来移設工事
- ② 一宮西病院 感染症対策臨時病床 7 床増築工事
- ③ 一宮西病院 増築工事

・医療機器の購入

- ① 一宮西病院 320 列 CT AquilionOne
- ② いまいせ心療センター 全身 X 線 CT 装置 AquilionPrimeSP
- ③ 一宮西病院 富士デジタルマンモグラフィシステム AMULETInnovality

・器具・備品の購入

- ① 上林記念病院 院内ネットワーク スコアスイッチ

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を
載する。(任意)

法人名 社会医療法人 杏嶺会

※医療法人整理番号 60326

(※ 上記は記載する必要なし)

所在地 愛知県一宮市奥町字下口西 8 9 番地の 1

貸 借 対 照 表

(令和 4 年 3 月 3 1 日 現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	19,989,334	I 流 動 負 債	6,436,743
現 金 及 び 預 金	14,370,085	買 掛 金	1,231,378
事 業 未 収 金	5,074,708	短 期 借 入 金	1,312,000
未 収 金	40,305	1年以内返済長期借入	980,604
た な 卸 資 産	296,958	リ ー ス 債 務	97,879
貯 蔵 品	693	未 払 金	663,024
前 払 費 用	40,377	未 払 費 用	1,009,836
未 収 収 益	193,574	未 払 法 人 税 等	20,073
役員従業員短期貸付金	17,563	未 払 消 費 税 等	34,251
貸 倒 引 当 金 △	44,932	前 受 金	234,706
そ の 他 の 流 動 資 産	0	預 り 金	3,018
		従 業 員 預 り 金	142,454
		賞 与 引 当 金	707,516
II 固 定 資 産	16,562,068	II 固 定 負 債	8,229,689
1 有 形 固 定 資 産	15,354,849	長 期 借 入 金	4,785,434
建 築 物	8,922,902	リ ー ス 債 務	97,879
構 築 物	360,120	長 期 未 払 金	139,859
医 療 用 器 械 備 品	856,456	長 期 前 受 収 益	2,357
そ の 他 の 器 械 備 品	179,006	退 職 給 付 引 当 金	1,960,458
車 両 及 び 船 舶	27,950	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	1,243,700
一 括 償 却 資 産	33,639		
土 地	2,904,377		
建 設 仮 勘 定	2,070,396		
2 無 形 固 定 資 産	424,209	負 債 の 部 合 計	14,666,433
ソ フ ト ウ ェ ア	422,496	純 資 産 の 部	
電 話 加 入 権	1,713	科 目	金 額
3 そ の 他 の 資 産	783,009	I 積 立 金	21,884,969
出 資 金	23,352	設 立 等 積 立 金	2,765,166
役員従業員長期貸付金	9,283	繰 越 利 益 積 立 金	19,119,802
長 期 前 払 費 用	405,436		
敷 金	59,016		
差 入 保 証 金	30,500		
保 険 積 立 金	254,943		
預 託 金	477		
		純 資 産 の 部 合 計	21,884,969
資 産 の 部 合 計	36,551,402	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	36,551,402

法人名 社会医療法人 杏嶺会
所在地 愛知県一宮市奥町字下口西 8 9 番地の 1

※医療法人整理番号 00326
(※ 上記は記載する必要なし)

損 益 計 算 書

(自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 3 1 日)

(単位：千円)

科 目		金 額	
I 事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			34,616,862
2 事業費用			
(1) 事業費用	28,134,808		
(2) 本部費用	850,781		28,985,589
本来業務事業利益			5,631,273
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			923,947
2 事業費用			798,452
附帯業務事業利益			125,495
C 収益業務事業損益			
1 事業収益			1,861
2 事業費用			13,163
収益業務事業損失			11,301
事業利益			5,745,467
II 事業外収益			
受取利息	135		
その他の事業外収益	6,300		6,436
III 事業外費用			
支払利息	52,474		
その他の事業外費用	7,192		59,667
経常利益			5,692,236
IV 特別利益			
固定資産売却益	99		
補助金収入	445,642		445,742
V 特別損失			
固定資産除却損	2,071		
固定資産圧縮損	445,642		447,713
税引前当期純利益			5,690,264
法人税・住民税及び事業税	20,298		
法人税等調整額	-		20,298
当期純利益			5,669,966

925,808
811,615

法人名 社会医療法人 杏嶺会
所在地 愛知県一宮市奥町字下口西 8 9 番地の 1

※医療法人整理番号 00326
(※ 上記は記載する必要なし)

財 産 目 録
(令和 4 年 3 月 3 1 日 現在)

1. 資	産	額	36,551,402 千円
2. 負	債	額	14,666,433 千円
3. 純	資 産	額	21,884,969 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	19,989,334
B 固 定 資 産	16,562,068
C 資 産 合 計 (A + B)	36,551,402
D 負 債 合 計	14,666,433
E 純 資 産 (C - D)	21,884,969

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (☐法人所有 ☐賃借 ☒部分的に法人所有 (部分的に賃借))

建 物 (☐法人所有 ☐賃借 ☒部分的に法人所有 (部分的に賃借))

監 事 監 査 報 告 書

社会医療法人 杏 嶺 会

理事長 上 林 弘 和 殿

私たち（注）は、社会医療法人 杏嶺会 の令和 3 年会計年度（令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- （1）事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- （2）会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- （3）計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- （4）理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 4 年 6 月 6 日

社会医療法人 杏 嶺 会

監 事 前田 憲昭

監 事 一木 弘之

（注） 監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

この写しは、原本と相違ないことを証明す

一宮市奥町字下口西八九番地の一
社会医療法人 杏嶺会
理事長 上 林 弘 和

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 継続事業の前提に関する事項

該当事項はありません。

2 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

原価法を採用しております。

尚、売却原価は個別法により算定しております。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

3 固定資産の減価償却法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備は除く）及び、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。なお、取得価額10万円以上20万円未満の資産については、3年均等償却を採用しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

(3) 長期前払費用

期間均等償却を採用しております。

4 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、正常債権については過去3年の貸倒実績率により計算した金額、回収困難見込債権については、債権額の90%を回収不能見込額として計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、当医療法人は、前々年度末の負債総額が 200 億円未満であることから、簡便法による期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当法人内規に基づく期末要支給額を計上しております。

5 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

資産に係る控除対象外消費税等については、発生年度に費用処理しております。

6 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

(1) リース取引開始日が、前々会計年度末日の負債総額が 200 億円未満である会計年度の所有権移転外ファイナンス・リース取引については賃貸借処理によっております。

(2) 補助金等の会計処理

固定資産の取得にかかる補助金等については、直接減額方式（固定資産の取得時に取得原価から直接減額する方法）を採用しております。なお、損益計算書においては当該補助金等を特別利益に計上するとともに、固定資産取得原価から直接減額した額を特別損失に計上しております。

7 重要な会計方針を変更した旨等

該当事項はありません。

8 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

(1) 収益事業 資産負債（千円）

資産	55,683
負債	152,332

(2) 収益事業の繰入金に関する事項

変動なし

9 担保に供されている資産に関する事項

(1) 担保に供されている資産（千円）

土地	1,878,739
建物	6,777,800
合計	8,656,540

(2) 担保に係る債務（千円）

短期借入金	1,312,000
1 年以内返済予定の 長期借入金	980,604
長期借入金	4,785,434
合計	7,078,038

10 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

(1) 法人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
			該当事項はありません				

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
			該当事項はありません				

11 重要な偶発債務に関する事項

該当事項はありません。

12 重要な後発事象に関する事項

該当事項はありません。

13 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 賃貸借をしたファイナンス・リース取引

科目	リース料総額（千円）	未経過リース料（千円）
車両及び船舶	101,287	35,596
その他器械備品	6,098	2,740

(2) 国庫補助金等による固定資産の圧縮記帳の額は 445,642 千円であり、貸借対照表計上額は
この圧縮記帳額を控除しております。また、国庫補助金等による事業収益は 1,987,473 千円を計
上しております。

①圧縮記帳した固定資産

科目	圧縮記帳額（千円）
建物	33,191
医療用器械備品	396,376
その他の器械備品	13,984
一括償却資産	2,089
合計	445,642

②補助金等の内訳、交付者及び貸借対照表等への影響額

内訳	交付者	損益計算書影響額(千円)	貸借対照表影響額(千円)
愛知県医療従事者応援金	愛知県	385,094	57,825
愛知県介護サービス確保対策事業費補助金	愛知県	6,684	2,584
愛知県介護サービス事業所・施設における感染防止対策支援事業補助金	愛知県	114	-
愛知県新型インフルエンザ等患者入院医療機関等整備費補助金	愛知県	77,194	42,102
愛知県新型コロナウイルス感染症検査機関等設備整備事業補助金	愛知県	21,318	15,450
インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金	厚生労働省	46,053	24,000
介護ロボット導入支援事業費補助金	愛知県	1,798	-
新型コロナウイルス感染症拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	厚生労働省	25,900	9,829
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	厚生労働省	359,290	244,901
両立支援等助成金 新型コロナウイルス感染症小学校休業対応コース	職業安定局	2,723	-
愛知県回復患者転院受入医療機関応援金	愛知県	400	90
愛知県高齢福祉施設等ワクチン接種加速化支援金	愛知県	251	-
愛知県新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備費補助金	愛知県	46,289	37,309
愛知県新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	愛知県	1,420,008	-
介護事業所 I C T 導入支援事業費補助金	愛知県	2,103	-

救急・周産期・小児医療機関院内感染拡大防止対策事業費補助金	愛知県	36,728	11,479
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	厚生労働省	57	-
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金	厚生労働省	496	-
新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	愛知県	614	69
合計		2,433,115	445,642

(3) 有形固定資産の減価償却累計額 15,964,701 (千円)

(4) 当法人は、設備投資（一宮西病院南病棟の建設等）資金の一部に充当するため、以下の金融機関と当座貸越契約を締結しております。

契約の相手先	岐阜信用金庫	十六銀行	大垣共立銀行
契約日	令和3年9月30日	令和3年9月30日	令和3年9月30日
契約金額（千円）	4,000,000	3,500,000	3,500,000

(5) 過年度に取得した固定資産（建物）の耐用年数に誤りがあったため、当事業年度に修正をしております。その結果、その累積的影響額である 885,545 千円を期首の繰越利益積立金に反映しております。純資産変動計算書は監査対象ではありません。

様式第四号

※医療法人整理番号 00326

法人名 社会医療法人 杏嶺会

所在地 愛知県一宮市奥町字下口西 8 9 番地の 1

純資産変動計算書

(自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 3 1 日)

(単位:千円)

	積立金			純資産合計
	設立等積立金	繰越利益積立金	積立金合計	
令和3年3月31日 残高	2,765,166	14,335,381	17,100,547	17,100,547
耐用年数変更による 累積的影響額	-	△ 885,545	△ 885,545	△ 885,545
遡及処理後 令和3年4月1日 残高	2,765,166	13,449,836	16,215,002	16,215,002
当期純利益	-	5,669,966	5,669,966	5,669,966
会計年度中の変動額合計	-	5,669,966	5,669,966	5,669,966
令和4年3月31日 残高	2,765,166	19,119,802	21,884,969	21,884,969

様式第五号

法人名 社会医療法人 杏嶺会

※医療法人整理番号 00326

所在地 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却 累計額又は償却 累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差 引 当期末残高 (千円)
有形 固定 資産	建物	17,081,886	77,913	33,191	17,126,608	8,203,706	579,986	8,922,902
	構築物	1,008,175	35,270	-	1,043,445	683,325	49,075	360,120
	医療用器械備品	6,892,983	602,981	481,608	7,014,355	6,157,899	572,794	856,456
	その他の器械備品	918,023	112,248	22,481	1,007,789	828,783	78,203	179,006
	車両及び船舶	68,865	11,771	-	80,637	52,687	16,220	27,950
	一括償却資産	72,664	32,063	32,788	71,939	38,300	33,410	33,639
	土地	2,771,543	159,727	26,893	2,904,377	-	-	2,904,377
	建設仮勘定	119,134	1,984,262	33,000	2,070,396	-	-	2,070,396
	計	28,933,277	3,016,236	629,963	31,319,550	15,964,701	1,329,690	15,354,849
無形 固定 資産	ソフトウェア	1,124,981	64,039	-	1,189,021	766,524	185,409	422,496
	電話加入権	1,713	-	-	1,713	-	-	1,713
	計	1,126,694	64,039	-	1,190,734	766,524	185,409	424,209
その 他 の 資 産	出資金	23,352	-	-	23,352	-	-	23,352
	役員従業員 長期貸付金	12,838	-	3,554	9,283	-	-	9,283
	長期前払費用	354,095	57,303	5,962	405,436	-	-	405,436
	敷金	60,998	36	2,018	59,016	-	-	59,016
	差入保証金	21,300	9,200	-	30,500	-	-	30,500
	保険積立金	174,702	91,898	11,657	254,943	-	-	254,943
	預託金	401	76	-	477	-	-	477
	計	647,688	158,514	23,192	783,009	-	-	783,009

注記

- 医療用器械備品の増加要因は、一宮西病院等およびまいせ心療センターにおける設備投資によるものとなっております。
- 建設仮勘定の増加要因は、一宮西病院南病棟の建設等における設備投資によるものとなっております。
- 医療用器械備品の減少要因は、上記の設備投資による取得資産への圧縮記帳によるものとなっております。
- 「当期減少額」には固定資産圧縮損を含めております。

法人名 社会医療法人 杏嶺会
所在地 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

※医療法人整理番号 00326

引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (その他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	33,224	44,932	446	32,777	44,932
賞与引当金	703,716	707,516	703,716	-	707,516
退職給付引当金	1,772,814	342,300	154,656	-	1,960,458
役員退職慰労引当金	1,206,700	37,000	-	-	1,243,700

注記

貸倒引当金「当期減少額」の「その他」欄32,777千円は、洗替方式により戻し入れた金額であります。

様式第七号

法人名 社会医療法人 杏嶺会
所在地 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

※医療法人整理番号 00326

借 入 金 等 明 細 表

区 分	前 期 末 残 高 (千円)	当 期 末 残 高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	-	1,312,000	0.40	-
1年以内に返済予定の 長期借入金	980,604	980,604	0.80	-
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	5,766,038	4,785,434	0.79	令和5年4月30日～ 令和21年3月28日
その他の有利子負債	-	-	-	-
合 計	6,746,642	7,078,038	-	-

注記

1. 平均利率の算定には、期末時点の利率を用いております。
2. 長期借入金（1年以内に返済予定のものを除く）の貸借対照表日後5年以内における返済予定額は以下のとおりであります。

	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内
長期借入金	801,254	788,604	788,604	788,604

様式第八号

法人名 社会医療法人 杏嶺会
所在地 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

※医療法人整理番号 00326

有 価 証 券 明 細 表

【債 券】

銘 柄	券 面 総 額	貸借対照表価額 (千円)
該当なし		
計		

【その他】

種 類 及 び 銘 柄	口 数 等	貸借対照表価額 (千円)
該当なし		
計		

様式第九の一号

法人名 社会医療法人 杏嶺会

所在地 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

※医療法人整理番号 00326

事業費用明細表

(単位：円)

区 分	本来業務事業費用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合 計
	事業費	本部費	計			
材料費	7,432,275,786	0	7,432,275,786	11,491,845	376,950	7,444,144,581
給与費	15,317,788,828	591,977,323	15,909,766,151	702,850,289	7,298,585	16,619,915,025
委託費	790,196,574	105,565,151	895,761,725	2,444,121	28,500	898,234,346
経費	2,332,268,270	142,688,861	2,474,957,131	37,653,602	1,538,807	2,514,149,540
売上原価	4,057,632	0	4,057,632	0	0	4,057,632
その他の事業費用	2,258,221,537	10,549,803	2,268,771,340	44,012,461	3,920,303	2,316,704,104
計	28,134,808,627	850,781,138	28,985,589,765	798,452,318	13,163,145	29,797,205,228

独立監査人の監査報告書

令和4年6月10日

社会医療法人 杏嶺会
理事会 御中PwCあらた有限責任監査法人
名古屋事務所
指定有限責任社員 公認会計士
業務執行社員

小笠原 悠文

監査意見

当監査法人は、医療法第51条第5項の規定に基づき、社会医療法人 杏嶺会の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

この写しは、原本と相違ないことを証明す

一宮市奥町字下口西八九番地の一
社会医療法人 杏嶺会
理事長 上林弘和